

## ★ オルゴール箱の木彫&着色 かんたん編 ★

天板は木彫、彩色ニス仕上げ。本体箱は単色の着色でかんたん&おしゃれな箱に仕上がります。

### ポイント

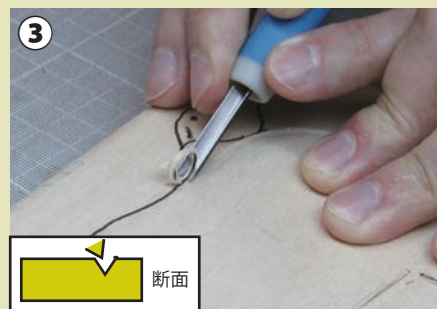
- 作る前に仮組み立て、天板の前後を確認しましょう。
- 木部に軽くやすりがけをしましょう。



① 下絵を展開図に描いてデザインします。  
☞ シンプルな形が彫りやすくおすすめです。



② 木地の上にカーボン紙、下絵の順で重ねて、鉛筆でなぞります。☞ 展開図を切り抜いて動かないようにテープで固定します。



③ 下絵の線にそって三角刀で彫ります。  
☞ 左右の指全体彫刻刀と木を押さえて少しずつ彫り進めます。



④ 三角刀の彫りあとに印刀で切り込みを入れます。  
☞ 印刀は立てて深く切り込みが入るようにします。※ねじらないよう注意!



⑤ 丸刀を使って下絵の外側(印刀で切り込みを入れたところ)、周囲を彫ります。



⑥ 角度があるところや細かいところは丸刀の小を使うと便利です。



⑦ 平刀や印刀の刃裏を上にして、表面がなめらかなになるように削っていきます。



⑧ 紙やすり(180番くらい)で表面をなめらかにし、布やブラシでおがくずを取り除きます。  
☞ 箱の本体もやすりがけしておきましょう。



⑨ 本体はポアーステインやカラーワックスなどを塗ります。全体に塗り終わったら布でこすってふき取ります。



⑩ 天板を水彩絵の具などで着色します。乾いたら水溶性つやだしニスで仕上げます。



⑪ 筆で均一に塗り、完全に乾いたら少しやすり、再度ニスを塗るとつやが出ます。

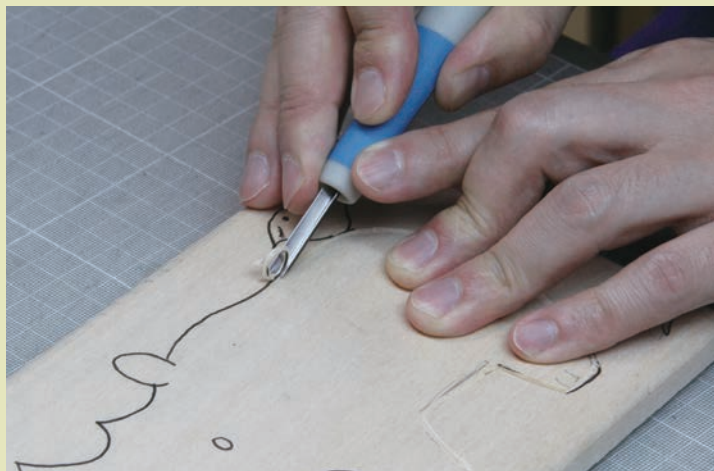


# 完成!

# ★ 彫刻刀の使い方・注意点 ★

## ⚠ 注意:

- ・手は彫刻刀の前に置かないでください。
- ・彫ながらねじると刃が欠ける恐れがあります。



全体を固定しながら彫り進めると良いでしょう。  
版画作業台やすべり止めシートを使用すると便利です。

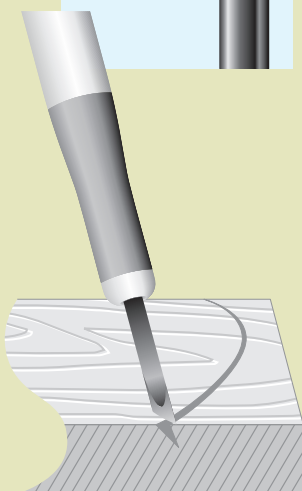
手があぶない!



手を置く位置に注意しましょう。

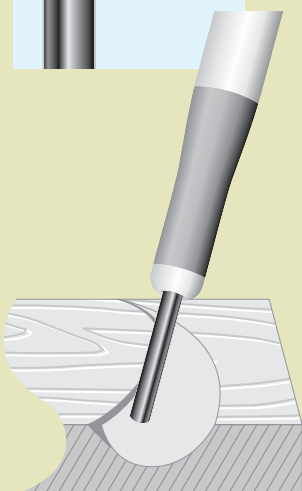
## 刃の種類

印刀



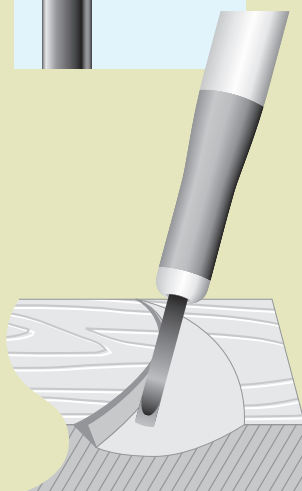
切り込みを入れます。印刀は立てて深く切り込みが入るようにします。細部を加工するときに便利です。  
※ねじらないよう注意!

丸刀



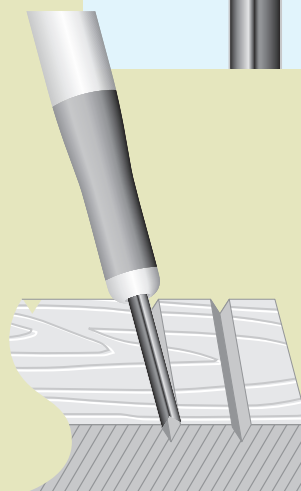
広い部分を彫り進むときに使います。大小二種類の刀があります。  
線の太さや彫る広さに合わせて使い分けましょう。

平刀



刃裏を上にして、表面がなめらかなるように削ったり平らに削れます。丸刀などの彫り跡を削ったり輪郭をぼかす効果を出せます。

三角刀



細い線や鋭い線を彫ることができます。